

感謝状

東京農業大学校友会

北海道支部

支部長 早坂有弘殿

貴支部はコロナ禍において
東京農業大学校友会が取り
組まれた「東京農大緊急食料
支援プロジェクト」により
学生支援に尽力されました
よつてそのご功勞に対して
心から感謝の意を表します

令和三年五月吉日

東京農業大学

学長 江口文陽



ご挨拶

拝啓

新緑の候、東京農業大学校友会の皆様におかれましては、ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より東京農業大学への格別なるご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス(COVID-19)感染症は、世界的にも留まりが見られず既に一年以上の感染対策が強いられています。緊急事態宣言や行動の自粛が長く続くことによって学生の日常生活も大きく変容しています。

保護者様の収入減とともに学生アルバイトの雇止めなどから経済的な困窮に脅かされている学生も散見されます。

東京農業大学としては、継続的な学びの確保を考えた修学支援を整備してまいりましたが、食料等の日常における支援には至っていません。

そのような現況において、「東京農大緊急食料支援プロジェクト」を立ち上げていただき全国の校友約 1000 人の皆様からの心温まる食料や日用品計 12 トンを学生への支援として賜りましたこと心から感謝申し上げます。

東京農業大学は、1891 年の創設以来多くの卒業生を社会に輩出し、輝かしい歴史と伝統を築くことができていることを改めて痛感した次第です。

この度、校友の皆様から賜りましたご支援の食料は、世田谷、厚木、北海道オホーツクの 3 キャンパスの学部生や院生への支援として配布させていただきました。また、果物などの生鮮食料品は、学生寮や学生食堂にて提供させていただきました。

学生からは、「5月の連休に実家に帰省できずに寂しかったが励みになった」、「1日一食しか食べていなかったので嬉しかった」、「農大に入学して先輩方に支えられていることがよくわかった」、「卒業後に農大の後輩に支援をして恩返ししたいと思う」など真に生活の支えになったことや東京農業大学の伝統を継承する言葉が寄せられたことなどは喜ばしいことです。これ以外にもたくさんの感謝の言葉が寄せられておりますことをお伝えいたします。

新型コロナウイルスは、変異株の出現などで予断を許さない状況です。私たち大学教職員も大学生活の安全と安心の確保のために取り組んでまいります。引き続きご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。教職員を代表して校友の皆様へご挨拶申し上げます。

末筆ではございますが、コロナ禍につきどうぞご自愛くださいませ。

敬具

令和 3 年 5 月吉日

東京農業大学
学長 江口 文陽

「東京農大 緊急食料支援プロジェクト」にご協力いただきました皆さまへ

拝啓 新緑の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より校友会活動に対し格別のご高配・ご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルスの感染状況の悪化に伴い、東京・大阪・京都・兵庫に4月25日から発出された緊急事態宣言は、5月11日までの期限を5月末まで延長され、新たに愛知・福岡、そして北海道・岡山・広島も加えられました。「まん延防止等重点措置」の適用地域も拡大されています。

多くの学生は生活費のほとんどをアルバイトによって賄っていますが、コロナ禍の影響でアルバイトができず生活が逼迫している状況にあります。そこで、校友会ではコロナ禍による生活困窮学生を支援するため、「東京農業大学緊急支援プロジェクト」を立ち上げ、2月18日から全国の支部長・幹事長の皆さまに食料などの支援を呼び掛けてまいりました。

皆さま方のご協力により、全国の校友会支部・会員から農産物、レトルト食品、カップ麺、菓子類、飲料および日用品など、12トンにも及ぶ物資を届けていただきました。それを受けて、4月20日に厚木キャンパスとオホーツクキャンパスにも発送しました。世田谷キャンパスでは4月26日に江口学長に目録をお渡しした後、中庭にて学生代表への贈呈式を行いました。大学教職員、学生等のご協力により、3キャンパス合計で約2000人に物資をお渡しすることができました。

世田谷キャンパスでは、配布時の密を避けるため、予め支援物資の希望者を募り、宅配にて発送しました。その様子は、日本農業新聞や全国農業新聞などで報道されました。オホーツクキャンパスはNHKでも取り上げられ、厚木キャンパスでの様子も神奈川新聞に掲載されました。支援物資を受け取った学生からは「農大の後輩たちにエールを送っていただいていることにとっても感動。これからの4年間、日々努力し、いつか私自身も農大に恩返ししたい」など、お礼のメールも頂きました。保護者からも感謝の声大学に寄せられています。

これも一重に全国校友の皆さまの母校愛によるものと感謝いたしますとともに、コロナ禍の不自由な状況の中、食料等の支援にご協力いただきました方々、企業の皆さまには改めまして感謝申し上げます次第であります。

まだまだコロナ禍は予断を許さない状況にあります。皆さまにはくれぐれもご自愛いただきますようご祈念申し上げ、お礼とさせていただきます。

敬具

令和3年5月吉日

東京農業大学校友会
会長 萬歳 章